# 2024年度第１回ファイナンシャル・プランニング技能検定１級実技試験

Part Ⅰ（2024年６月15日）　　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

●設　例●

Ａさん（65歳）は、個人で25年前に開業した動物病院を経営している獣医師である。飼い主とその大切な家族であるペットに寄り添う診療を常に心がけることで、地域の顧客と良好な信頼関係を築いており、昨今のペットブームも相まって、業績は順調に推移している。妻Ｂさん（62歳）は、青色事業専従者として動物病院の経理業務を担当している。

先日、Ａさんは、同業の知人から「法人を設立すれば所得税や将来の相続税の負担を軽減することができるらしい」との話を聞いた。ここ数年、Ａさんの年間所得は3,000万円を超えており、効果があるのであれば前向きに検討したいと思っている。

また、Ａさんは、地元の不動産業者から、所有しているアスファルト敷きの月極駐車場用地にテナントビルを建築する提案を受け、検討を進めているが、テナントビルを建築する場合、その名義は個人と法人のどちらがより望ましいのか判断がつかないでいる。

Ａさんには、長男Ｃさん（35歳）と長女Ｄさん（33歳）の２人の子がいる。長男Ｃさんも獣医師であり、別の動物病院に約10年間勤務した後、今年からＡさんの動物病院で働いている。Ａさんは、そろそろ長男Ｃさんに事業を引き継ぐ準備を始めたいと考えており、土地建物を含めた事業用資産をどのような方法で引き継げばよいのか、今のうちに整理しておきたいと思っている。

また、Ａさんは、出版社に勤務し賃貸マンションで夫と子の３人で暮らしている長女Ｄさんから、分譲マンションを購入して住み替えることを考えているとの話を聞き、その援助をしてやりたいと思っている。

【Ａさんの所有財産の概要】（相続税評価額、土地は小規模宅地等の評価減適用前）

| | | |
|---|---|---|
| １．現預金 | ： | ２億3,800万円 |
| ２．自宅 | | |
| ①土地（200㎡） | ： | 3,000万円 |
| ②建物（築30年） | ： | 1,000万円 |
| ３．動物病院 | | |
| ①土地（300㎡） | ： | 7,000万円 |
| ②建物（築25年） | ： | 2,000万円 |
| ４．事業用資産（建物以外の減価償却資産） | ： | 1,000万円 |
| ５．月極駐車場（400㎡） | ： | １億2,000万円 |
| ６．Ｘ社株式 | ： | 200万円 |
| 合計 | ： | ５億円 |

※Ｘ社株式は、Ａさんの知人であるＥさんが経営する非上場会社の株式で、その設立時に出資したもの（Ｅさん80%、Ａさん20%）である。先日、ＥさんからＸ社株式を買い取りたいとの申し出があった。

※Ａさんの相続に係る相続税額は、約１億3,000万円（配偶者の税額軽減・小規模宅地等の評価減適用前）と見積もられている。

（注）設例に関し、詳細な計算を行う必要はない。

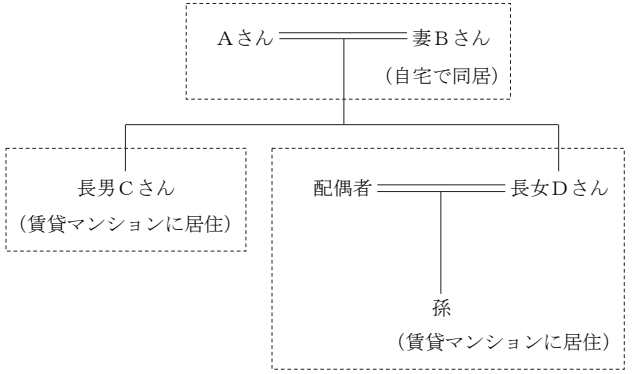
検討のポイント

●設例の顧客の相談内容および問題点として、どのようなことが考えられるか。
●それらの相談内容および問題点を解決するために、どのような提案・方策が考えられるか。
●それらの方策（解決策）のなかで、何を顧客に提案するか。その理由・留意点は何か。
●ＦＰと職業倫理について、どのようなことが考えられるか。

【Ａさんの家族構成】

妻Ｂさん　（62歳）：青色事業専従者。Ａさんと自宅で同居している。
長男Ｃさん（35歳）：獣医師。賃貸マンションに住んでいる。
長女Ｄさん（33歳）：会社員。夫と子の３人で賃貸マンションに住んでいる。

【親族関係図】




（メモ余白）